

# 2022年度 大学院試験 No.1(マークシート) フィードバックシート

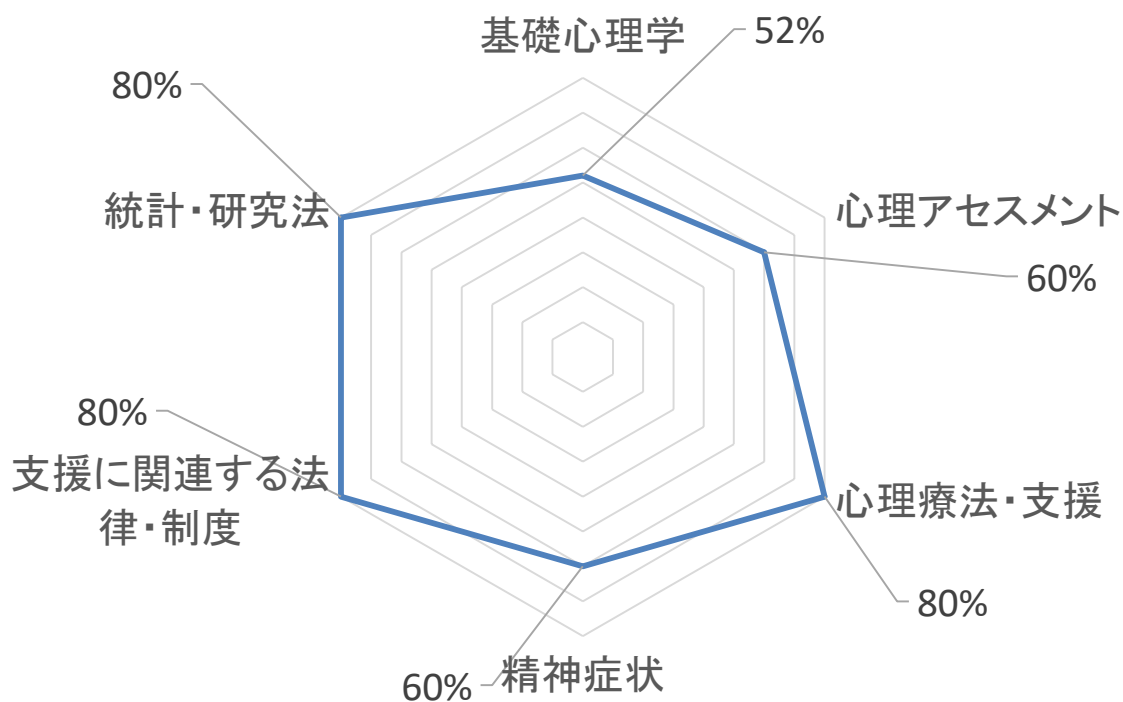
〇〇 〇〇

様

## ■得点

領域	得点	平均点	標準偏差	問題数(配点)	正答率	平均点以下の領域
基礎心理学	26	30.0	5.2	25(50点)	52%	要チェック
心理アセスメント	6	6.4	2.3	5(10点)	60%	要チェック
心理療法・支援	8	7.2	1.6	5(10点)	80%	
精神症状	6	5.2	2.1	5(10点)	60%	
支援に関連する法律・制度	8	7.2	2.0	5(10点)	80%	
統計・研究法	8	7.2	2.4	5(10点)	80%	
総合	62	63.5	8.6	50(100点)	62%	

## 各領域の正答率による知識のバランス



※今回の模試結果に基づく知識のバランスになります。志望校の出題傾向をふまえながら、ご参考になさってください。

## ■各領域についてのコメント

### ● 基礎心理学について

今回の模試におけるあなたの基礎心理学領域の得点は平均レベルです。合格レベルに達するためには、まず間違っただけの問題について、なぜ間違っただけのかをしっかりと把握し、その分野に関する正しい知識の定着を図りましょう。また、比較的よく出題される発達・学習・パーソナリティ・ストレス・脳についてはしっかりと身につけていきましょう。これらの分野は臨床実践においても重要な知識のため、臨床心理学に関する知識と関連づけながらコツコツ積み重ねていきましょう。

### ● 心理アセスメントについて

今回の模試におけるあなたの心理アセスメント領域の得点は平均レベルです。合格レベルに達するために、間違っただけの問題について、なぜ間違っただけのかをしっかりと把握し、それについての正しい知識の定着を図りましょう。特に質問紙法検査や投映法検査、知能検査、インタビュー面接、テストバッテリーは頻出内容ですので、しっかりと学習しましょう。

### ● 心理療法・支援について

今回の模試におけるあなたの心理療法・支援領域の得点は平均レベルです。合格レベルに達するためには、まずは間違っただけの問題について、なぜ間違っただけのかをしっかりと把握し、その領域についての正しい知識の定着を図りましょう。精神分析、行動療法・認知行動療法、クライエント中心療法の三大療法を基本としつつ、志望校の指導教員の専門性をふまえながら学習しましょう。

### ● 精神症状について

今回の模試におけるあなたの精神症状領域の得点は平均レベルです。合格レベルに達するためには、まずは間違っただけの問題について、なぜ間違っただけのかをしっかりと把握し、その精神疾患に関する正しい知識の定着を図りましょう。特に、自閉スペクトラム症や注意欠如多動症などの神経発達症や、PTSD、境界性パーソナリティ障害など、心理職として関わる可能性の高い精神疾患についてはしっかりと身につけていきましょう。

### ● 支援に関連する法律・制度について

今回の模試におけるあなたの支援に関連する法律・制度領域の得点は平均レベルです。合格レベルに達するためには、まずは間違っただけの問題について、なぜ間違っただけのかをしっかりと把握し、それについての正しい知識の定着を図りましょう。法律については児童虐待防止法や少年法、DV防止法、精神保健福祉法といった法律について目を通しておくとよいでしょう。また、制度についてはスクールカウンセラーの役割や児童虐待対応など心理職として関わるものについて確認しておくとよいでしょう。

### ● 統計・研究法について

今回の模試におけるあなたの心理統計・研究法領域の得点は平均レベルです。合格レベルに達するためには、今回間違っただけの問題についてしっかりと復習し、正しい知識を身につけましょう。また、尺度水準、信頼性・妥当性、検定、相関といった内容は比較的に出題される可能性が高いので、しっかりと学習しましょう。

## ■総合得点についてのコメント

あなたの現在の総合的な知識は合否ラインボーダーです。合格ラインにはありますが、確実な合格をつかむまではあともう一歩といったところです。特に間違いが多かったり平均点以下の領域については、しっかりと復習を行い、合格のために必要な知識をバランスよく身につけましょう。また、志望校の出題形式に合わせて、用語説明や論述など「書く」トレーニングもしましょう。

フィードバックシートからこれまで積み重ねてきた実力や、弱点・課題をしっかりと読み取り、志望校の出題傾向をふまえながら今後の対策にお役立ていただけますと幸いです。みなさんのがんばりを応援しています。